

科目名		母子看護 産科クリニック実習				DP1 DP2 DP3 DP6			看護高等課程	
学年	2 年	分野	専門 臨地実習 母子看護	時間数	45 時間	科目 責任者	専任 教員	担当 教員	専任教員	
科目 概要	母性看護実習での女子学生の実習では、女性生殖器の診察や出産、乳房マッサージなど場面などの見学や、育児支援に向け家族の様々な情報を知り得る事となる。看護師の関わりを通し、羞恥心やプライバシーの配慮、守秘義務など母性看護に求められる態度を考えながら学ぶ。また、男子の母性看護実習は学内での実習となるが、事例を活用するなどシミュレーション演習を通して正常な経過を正しくとらえ、異常に気付くことができる観察力を身につけ、妊婦体験・育児体験や、出産の映像鑑賞を通して母性看護に求められる態度や命の尊厳について考え、母性看護が実践できる基礎的能力を習得する。									
到達 目標	1. 妊娠・産褥・新生児の経過を、指導者の助言を受けながら安全・正確に観察することができる。 2. 正常な分娩・産褥及び新生児の経過に応じた変化が順調に進むような援助を指導者の指示を受けながら見学・実施することができる。 3. 実習を通し、母性を育む支援、命の尊さ、人間愛、倫理へと学びを探究できる。									
	実習場所		授業内容					形態	担当教員	
	病棟・外来		実習期間：クリニック施設内（5 日間） 実習時間：8：30～16：00（実習時間 9 時間） 実習先：医療法人 Ohana 久保田レディースクリニック産婦人科麻酔科 実習方法：2～3 名を 1 グループとし、5 日間のクリニック実習を行う。 実習の詳細：病棟・外来・新生児室での実習を行い、診療の準備、環境整備、診療の補助技術、沐浴・おむつ・ミルク・検温など見学または看護師と共に活動する。妊婦の同意を得られた場合のみ分娩見学を行う。					実習	専任教員	
評価 基準	母子看護実習 4 か所（病棟・学内 50 点、保育園 20 点、からつ医療センター・からつ学園くれよん 30 点）の総合評価で 100 点となる。									
評価 方法	出席状況と実習への参加態度、行動などで総合的に評価する。パフォーマンス課題、ルーブリックに基づき、ポートフォリオの内容等も総合的に評価を行う。									
教科書	必要な参考書や教科書は実習オリエンテーション時に提示する。また、適宜資料を配布する。									
履修上の 注意点	受け持ち実習ではないため母性を育む支援をとらえるためには、母子の関わっている場面、育児指導の場面など積極的に見学する。入院期間の短縮に伴い、個々に計画的に行われているため、対象の情報収集、指導者への積極的なアプローチが不可欠となる。 分娩や母性特有の処置を見学するうえでは、妊婦の許可がある場合のみ見学や実践が可能となる。羞恥心やプライバシーへの配慮、守秘義務、命の重み、など母性看護に求められる態度を考え感謝して臨む。									

科目名		母子看護 保育園実習				DP1 DP2 DP3 DP5 DP6		看護高等課程	
学年	2 年	分野	専門 臨地実習 母子看護	時間数	18 時間	科目 責任者	専任 教員	担当 教員	専任教員
科目 概要	保育園では、健康な小児と接することで年齢に応じた発達を理解し、小児の成長・発達とその評価、遊びを通して小児の特徴を捉える。また、発達に応じた養護・環境調整・日常生活の援助を通して小児の成長を支援する方法について学び、あらゆる健康レベルの子どもと関わる際の指標を持ち、小児看護が実践できる基礎的能力を習得する。								
到達 目標	1. 感覚・運動・認知機能の発達に応じた遊びや生活習慣獲得に向けた関わりを通し、子どもの発達段階の特徴を捉えることができる。 2. 発達段階・個性に応じた基本的生活習慣の獲得に向けた援助を指導者の指示を受けながら実践することができる。 3. 子どもの行動観察を元に、安全な環境を考え、健やかな成長・発達に向けた支援を考えることができる。								
	実習場所			授業内容				形態	担当教員
	保育園			実習期間：保育園内（2 日間） 実習時間：8：30～16：00（実習時間 9 時間） 実習先：一般社団法人 唐津東松浦医師会 たんぼぼ保育園 実習方法：学生 4～6 名を 1 グループとし、2 日間の保育園実習を行う。 実習の詳細：ひよこ組（0～1 歳児）、うさぎ組（1 歳児）、ぱんだ組（2 歳児）、こあら組（3 歳児）、きりん 組（4・5 歳児）の各クラスに分かれ実習を行う。子どもが昼寝の時間は、視聴覚教材を活用し言語や社会性の発達について考える。 詳細は実習要項を参照する。				実習	専任教員
評価 基準	母子看護実習 4 か所（病棟・学内 50 点、保育園 20 点、からつ医療センター・からつ学園くれよん 30 点）の総合評価で 100 点となる。								
評価 方法	出席状況と実習への参加態度、行動などで総合的に評価する。パフォーマンス課題、ルーブリックに基づき、ポートフォリオの内容等も総合的に評価を行う。								
教科書	必要な参考書や教科書は実習オリエンテーション時に提示する。また、適宜資料を配布する。								
履修上の 注意点	対象クラスを中心に既習した学習が必要となるため、自己にて積極的に学習を行うことが必要となる。また保育園実習は短期間に子供、指導者との関係構築が課題となる。モデルとなる保育士をまねた行動や園児と一緒に楽しく遊ぶだけでなく、子供との適切な関わり方・援助について積極的に質問し、指示を受けながら実践し、振り返りを行う。								

科目名		母子看護 児童発達支援センター実習				DP1 DP2 DP5 DP6		看護高等課程	
学年	2 年	分野	専門 臨地実習 母子看護	時間数	9 時間	科目 責任者	専任 教員	担当 教員	専任教員
科目 概要	地域の障がい児支援を担う福祉施設である児童発達支援センター実習の対象の多くは知的障がい児である。どちらも自立生活を営むために必要な訓練や創作活動、余暇の提供などが行われており、障害児との触れ合いを通して、障害児を理解し、子どもが健康に成長していくための生活支援を中心に学びを深める。これまでの既習知識を活用して発達段階を踏まえた生活面の自立支援がどのように行われているかを捉え、子どもが健康に生活して発達するための支援とは何かを考え、小児看護が実践できる基礎的能力を習得する。								
到達 目標	1. 各施設のオリエンテーションから障がいを持つ子どもの成育を支える施設の概要を捉えることができる。 2. 子どもとの関わりは指導者の指示を受け、子どもを尊重しながら関わるができる。 3. 障がいを持つ子どもが健やかに成長していくための支援の在り方について探求できる。								
	実習場所			授業内容				形態	担当教員
	児童発達支援センター 放課後等デイサービス			実習期間：センター内（1 日間） 実習時間：8：30～16：00（実習時間 9 時間） 実習先：社会福祉法人まつら会 障がい者支援施設 からつ学園 実習方法：学生 10 名を 1 グループとし、1 日間の施設内実習を行う。児童発達支援センターくれよん（未就学児対象）と、放課後等デイサービス（就学児対象）に分かれて実習を行う。 実習の詳細： 指導者の助言を受けながら、障がいを持つ子どもとの関わりを実施し、様々な発達段階を認識しながら、健やかな成長に向けた支援について考える。 詳細は実習要項を参照する。				実習	専任教員
評価 基準	母子看護実習 4 か所（病棟・学内 50 点、保育園 20 点、からつ医療センター・からつ学園くれよん 30 点）の総合評価で 100 点となる。								
評価 方法	出席状況と実習への参加態度、行動などで総合的に評価する。パフォーマンス課題、ルーブリックに基づき、ポートフォリオの内容等も総合的に評価を行う。								
教科書	必要な参考書や教科書は実習オリエンテーション時に提示する。また、適宜資料を配布する。								
履修上の 注意点	対象児の多くは知的障害児であり自立生活を営むために必要な訓練や創作活動が行われている。1 日実習であり、初めに概要説明を通し対象児の特徴、関わる際のポイントを伝えられるため、指導者の見守りや指示を受け関わる。								

科目名		母子看護 心身障害児医療福祉総合施設実習				DP1 DP2 DP5 DP6		看護高等課程	
学年	2 年	分野	専門 臨地実習 母子看護	時間数	18 時間	科目 責任者	専任 教員	担当 教員	専任教員
科目 概要	心身障害児医療福祉総合施設である医療福祉センターは、障害児者を受け入れる福祉と医療の両面を併せ持つ施設である。小児外来や入所児の医療処置など、小児を対象にした医療施設の特徴や小児看護の特殊技術を学ぶことができる。看護者はそのケアによって子どもの最善の利益が守られているかを常に考えることが求められる。先に終了している保育園実習での学びを活かし、障がいを持つ小児とかかわりを持ちながら、子どもを尊重して関わることができているか常に自分を振り返りながら小児看護が実践できる基礎的能力を習得する。								
到達 目標	1. 各施設のオリエンテーションから障がいを持つ子どもの成育を支える施設の概要を捉えることができる。 2. 子どもとの関わりは指導者の指示を受け、子どもを尊重しながら関わることができる。 3. 障がいを持つ子どもが健やかに成長していくための支援の在り方について探求できる。								
	実習場所		授業内容				形態	担当教員	
	病棟		実習期間：施設内（2 日間） 実習時間：8：30～16：00（実習時間 9 時間） 実習先：社会福祉法人 佐賀整肢学園 からつ医療福祉センター 実習方法：学生 10 名を 1 グループとし、2 日間の施設内実習を行う。 実習の詳細：小児外来、入所施設、通所施設（未就学・就学）等の見学、概要説明を受け、小児を取り巻く医療環境や安全対策の実際を知る。また、放課後等デイサービス事業、就園児のバス送迎、夏休み期間中の学童と宿題への支援を通して関わりを持ち、学童期の教育支援の大切さ、医療と教育の連携、児の療育に向け、多職種がチームとなり働いている場を体験し学ぶ。 詳細は実習要項を参照する。				実習	専任教員	
評価 基準	母子看護実習 4 か所（病棟・学内 50 点、保育園 20 点、からつ医療センター・からつ学園くれよん 30 点）の総合評価で 100 点となる。								
評価 方法	出席状況と実習への参加態度、行動などで総合的に評価する。パフォーマンス課題、ルーブリックに基づき、ポートフォリオの内容等も総合的に評価を行う。								
教科書	必要な参考書や教科書は実習オリエンテーション時に提示する。また、適宜資料を配布する。								
履修上の 注意点	対象は健康障がいを持ち、通園・通学中の小児である。保育園で学んだ発達段階の特徴を踏まえ、疾患を持つ小児に対する学習が必要となるため、自己にて積極的に学習を行って臨む。 初めに対象児の特徴、関わる際のポイントを伝えられるため、指導者の見守りや指示を受け関わる。								